

Economic Indicators

発表日: 2022年10月14日(金)

主要経済指標予定(2022年10月17日~10月21日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(10月17日~10月21日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果	
10月17日 (月)	13:30 8月第3次産業活動指数 (前月比) (前年比)	+0.5% +3.9%	+0.3% —	▲0.7%~+0.7% —	▲0.6% +1.6%	
	13:30 8月鉱工業指数・確報 鉱工業生産指数 (前月比) (前年比)	— —	— —	— —	+2.7% +5.1%	
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	+2.4%	
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	▲1.3%	
	13:30 8月商業動態統計・確報 小売業販売額 (前年比)	—	—	—	+4.1%	
	10月18日 (火)					
	10月19日 (水)					
10月20日 (木)	8:50 9月貿易統計 輸出金額 (前年比) 輸入金額 (前年比) 貿易収支 (原数値、億円)	+29.0% +43.0% ▲18,684	+26.7% +44.7% ▲21,454	+24.4%~+29.0% +38.6%~+53.1% ▲26,295~+23,499	+22.0% +49.9% ▲28,200	
	14:00 9月コンビニエンスストア統計 既存店ベース売上高 (前年比)	—	—	—	+4.8%	
	10月21日 (金)	8:30 9月消費者物価指数 (全国) 全国コア (前年比) 全国総合 (前年比)	+3.0% +3.0%	+3.0% +2.9%	+2.9%~+3.1% +2.8%~+3.2%	+2.8% +3.0%
		14:00 9月チェーンストア販売統計 店舗調整後販売額 (前年比)	—	—	—	+0.6%

9月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲18,684億円 中央値：▲21,454億円

9月の貿易収支を、▲17,188億の赤字（季節調整値）と予想する。実質輸出は、中国のロックダウン解除で供給制約が緩和したことで、7-9月期は2四半期ぶりに増加となる見込み。もっとも、4-6月期の落ち込みの後としては緩やかな回復に留まるだろう。先行きは、急速な金融引き締めの影響で景気減速感が強まる米国、欧州向けが低迷することで、輸出の下押しとなる可能性が高い。輸入に関しても、冬場にかけて世界的なエネルギー供給不足が意識される中で原油価格の高止まりが見込まれ、高水準が続く見通し。当面大幅な貿易赤字が続く可能性が高い。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

9月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+3.0% 中央値：同+3.0%

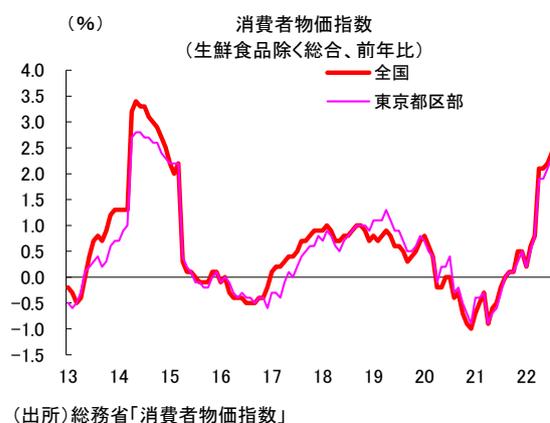
CPI コアは前年比+3.0%と、消費税要因を除けば1991年8月以来の3%台乗せを予想する。食料品（生鮮除く）の伸びが一段と高まることに加え、エネルギー、食料を除くコアコア部分で原材料高や円安によるコスト増の価格転嫁が進むことも、上昇率拡大に寄与する見込み。今後もコスト増を主因とした物価上昇は強い状態が続くとみられ、CPIは先行き一段と伸びを高める可能性が高い。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

図表1



図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。